

作業療法士の

資格と仕事

SCHOOL 学校 →

STUDY 勉強 →

QUALIFICATION 資格 →

WORK 仕事

一般社団法人 日本作業療法士協会

INFORMATION
BOOK

2



作業療法士とは

リハビリテーションの
専門家です。

作業療法士は、障害のある人が、その人その人の状態と
折り合いをつけながら、生き生きとした生活を

送れるよう、仕事、遊び、日常的な生活など

活動（作業）をとおして、こころとからだを元気にする

リハビリテーションの専門家です。

「その人らしく」「その人のからだところの状態」

「その人の周りの環境」を考えながら…

その人が笑顔になれるように

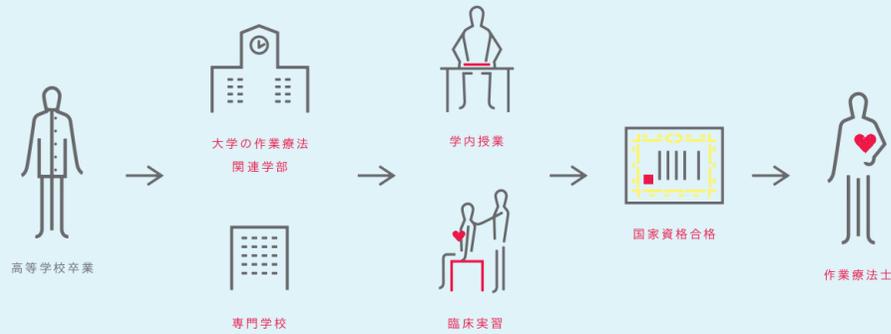
今とこれからのゆたかな生活づくりを支援します。

これから、作業療法士になるまでを紹介します。

1. SCHOOL

作業療法士になるための**養成校は、全国に約170校**あります。
養成校は、大学・専門学校などがあり、修業年限は3年または4年です。

作業療法士になるための学校



www.jaot.or.jp

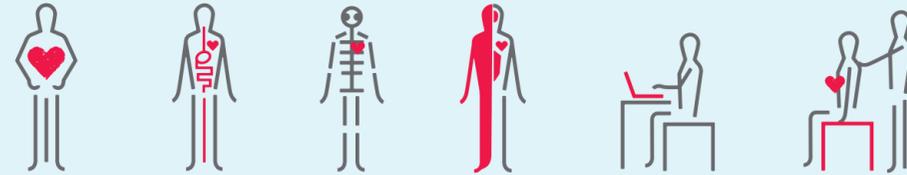
日本作業療法士協会の、WEBサイトに、各都道府県作業療法士会と、**全国の養成校のWEBサイトを**紹介しています。

*各都道府県の作業療法士会や養成校では、志望者向けの説明会や体験入学を行っています。
詳しくは、各協会、養成校にお問い合わせください。

2. STUDY

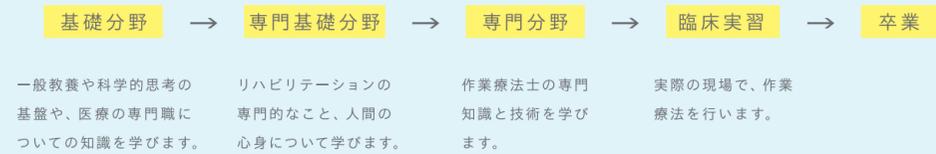
授業では、解剖学や運動学、生理学、臨床心理学、病気や障害のことなどの、**医学的な基礎知識、作業に関する知識。福祉**の面からは、地域で生き活きと生活していくこと、家族も含めて支援すること、それをチームで支え合うことなど**多岐にわたり勉強**します。

作業療法士になるための勉強



臨床心理学、精神医学や、解剖学、生理学、病理学や、情報科学、論文の作成や、一般教養、病院など現場での臨床実習、評価学や治療法など勉強します。

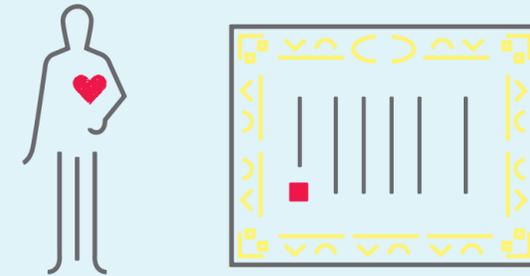
養成学校のカリキュラム



3. QUALIFICATION

養成校を卒業するだけでは、作業療法士になれません。
1年に1回、2月頃に行われる国家試験を受けて、合格して初めて作業療法士の**国家資格**を受け、**作業療法士**となります。

作業療法士になるための資格



合格率 **85%**
(平均合格率)
就職率 **100%**

先輩作業療法士からのADVICE

「患者さんにとって、作業療法士は自分ひとりだけ」

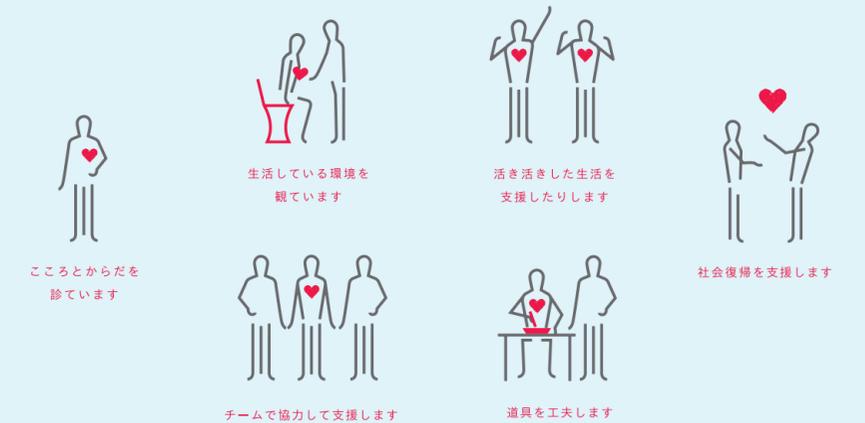
患者さんが「何を求めているのか」「何をできるようになりたいのか」という気持ちを察し、それができるようになるには、どうすればいいか、周りの環境を含めて全体的に考えながら仕事をします。小さい変化を見逃さず、患者さんと一緒に喜ぶ。患者さんのために、いまできることを精一杯取り組む。「自分は、複数の患者さんを担当するけれども、患者さんにとって作業療法士は自分一人だけ」という先輩の言葉を忘れてはいけないと常に自分に言い聞かせてます。資格を取ったということは、作業療法士としてのスタートラインに立ったにすぎません。自分の引き出しを増やすために、一生勉強する気概も必要です。責任が重いからこそやりがいも大きい。作業療法士はそんな魅力のある仕事です。

4. WORK

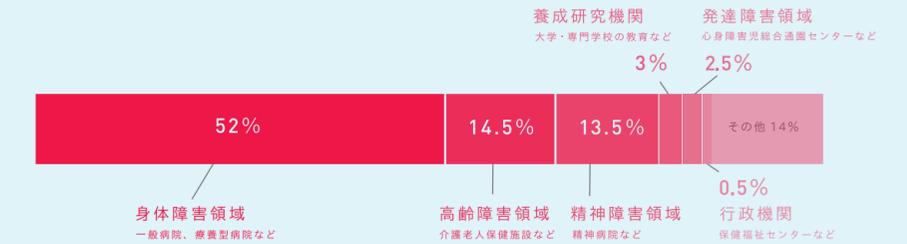
就職は、病院・施設が多いのですが、超高齢化社会が進むなか、地域（在宅）や保健福祉への就職が増えることが予測されます。**作業療法士**は、臨床分野のみならず、研究・教育・行政などの**幅広い分野での活躍が期待**されています。

作業療法士の仕事

作業療法士は、その人その人の



作業療法士のいる施設



作業は作業をすることで
気分になれる



Japanese
Association of
Occupational
Therapists

一般社団法人 日本作業療法士協会 事務局

〒111-0042 東京都台東区寿 1-5-9 盛光伸光ビル 7階

TEL.(03)5826-7871 FAX.(03)5826-7872